

GASAIRE

Windowsサーバのための稼働状況測定・監視ソフトウェア

稼働状況をエージェントレスで把握。
クラスター、階層構造サーバに対応。
システム管理者の負担を劇的に軽減。
専門的な知識を必要としない操作性。



サーバシステムの信頼性低下や性能劣化は企業活動において大きな影響を及ぼします。その上、システムダウンが発生したりすれば企業活動が停止するという事態にまで発展しかねません。しかし、Windowsサーバのどこに信頼性低下や性能劣化を引き起す要因が潜んでいるのかを明確に把握し、適切な対策を実施することができているでしょうか？ 残念ながら多くの管理者が、要因特定や対策を行うのに有効な指標となるものが存在しないため、『経験』と『勘』を頼りに管理業務を行っているのが現状です。

「GASAIRE」は、簡単な操作で稼働状況データを収集し、信頼性低下や性能劣化要因の解析を行い、適切なシステム改善を行うための稼働データを提供します。また、しきい値トリガー機能により稼働状況を監視することも可能です。

GASAIREの機能

●稼働データ収集機能

- ◎システム全体におけるCPU、メモリー、ディスク、ネットワークの稼働状況。
- ◎プロセス毎のCPU、メモリー、I/Oリクエストの稼働状況。
- ◎監視対象サーバへエージェントを必要としない。

●同時アクセス機能

- ◎クラスター構成や階層構成サーバ群の稼働データを同時時間軸で収集し、サーバ群の中のボトルネックサーバを解明。 ※追加で同時アクセスライセンスが必要となります。

●実行予約機能

- ◎1回のみ、毎日、週・月単位で稼働データの収集を開始する時間を予約し、予約された時間帯のデータを収集。

●しきい値トリガー機能

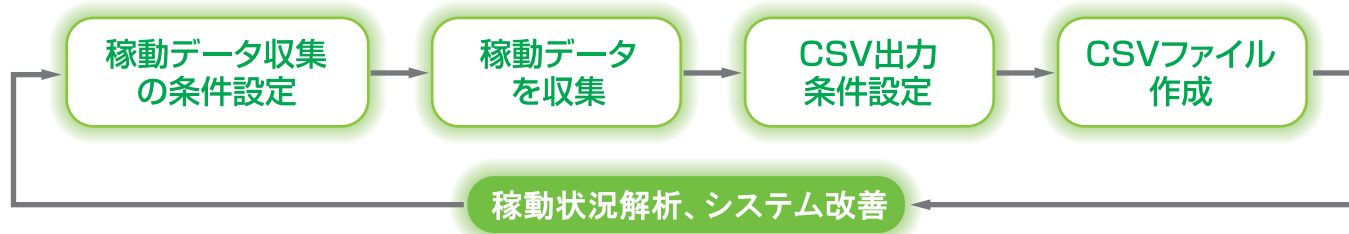
- ◎CPU使用率、メモリー使用量、ディスクIOバス使用率にしきい値を設定し、システムの稼働状況がその値を超えた場合、自動的に稼働データを収集を実行開始。

●CSVファイル作成機能

- ◎必要なデータのみをCSVファイルとして取り出し、EXCELに取り込み簡単に可視化できます。

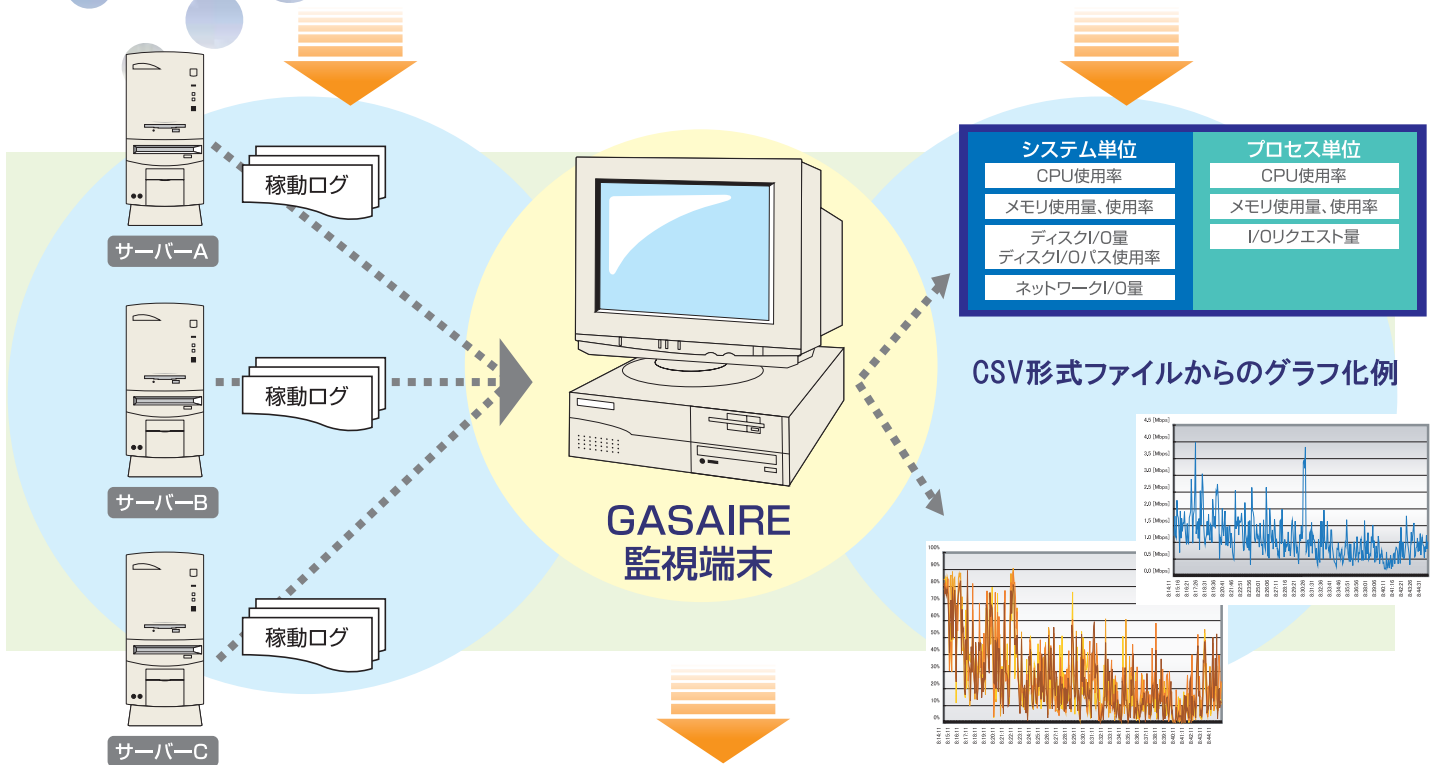
※上記機能はバージョンアップにより順次サポート予定ですので、詳細は裏面下記までお問い合わせ下さい。

オペレーションフロー



1 稼動データの収集
『予約』or『しきい値トリガー』
により稼動データを収集。

**2 稼動データの
CSVファイル化**
必要なデータのみを抽出



稼動状況を正確に把握、解析

システム改善の適切な最適化、ROI予測

動作環境

■GASAIREサーバー (監視端末)

- Windows 2000/XP, CPU Pentium-3/600MHz以上、メモリー128MB以上、10Mbps以上のネットワーク、SVGA (800×600) 程度のモニター
- ディスク容量: 10MB程度
※保存されるデータ量に依存します。数ヶ月分のデータを保存するためには1GB程度の空き容量が必要になります。
※データ保存先はNTFSファイルシステムであることが望ましい。

■GASAIREクライアント (監視対象サーバ)

- Windows NT4.0 SP4以上/200/XP/2003 Server, CPU Pentium-3/600MHz 以上 (IA-32)、メモリー128MB以上、10Mbps以上のネットワーク。
- 必要条件
GASAIREクライアントへAdministrator権限でアクセスが可能な事。
GASAIREモニタリングサーバとGASAIREクライアント間はTCP/IPプロトコルが流れる事。



【開発元】株式会社蒼天

〒104-0045
東京都中央区築地1丁目9-11-605
TEL.03-3549-0138 FAX.03-3549-0139
URL.http://www.so-ten.co.jp/
E-mail:info@so-ten.co.jp

●詳しいお問い合わせは